

## 三者協議議事録

記録者 = 村松

平成 14 年 1 月 20 日 午後 4 時 ~ 午後 5 時 4 5 分  
十符の里プラザ 2 階研修室

出席者

県側参加者：

局長補佐 鈴木、岡崎、猪股、渡辺、村田、

宮城県警 W杯総務係補佐・菅野、木村

利府町ワールドカップサッカー対策室 10名

利府町ワールドカップサッカー対策協議会 11名 + 事務局(村松)

司会：村田

輸送計画・警備計画について説明

岡崎

資料により説明

一般観客と住民の安全を第一に考えたい

W杯だからやらねばならないこと = 動線分離

宮城スタジアム観客を 2 つに分ける。対戦国同士を混ぜない。一箇所に集中させない。

スタジアム周辺から一般観客を制限しようという考え方。

車で来た人は、パークアンドバスライドで対応する。駐車場に止めてもらってそこからシャトルバス。

一般観客：43,843人(カメラ席などをひいたもの。これより多くなることはない)

動線分離の拠点駅：仙台駅

1つのゾーンはJR系、もう一つのゾーンは地下鉄。

JR = 利府と国府多賀城

P & B Rでは、駐車場が動線分離の拠点とする。G 2 1内駐車場表記でみると、南のターミナル = 第一駐車場(メインスタンドと北)、北ターミナル = B、C駐車場の(バックスタンドと南)

仙台港 = 夢めっせの南、大和製かん

富谷地区 = 新富田ガーデンシティ

大和 = 大和 IC から大和警察署に抜ける道沿いの中古自動車販売協会を借りる(大和 IC から車で3分程度)

動線分離は難しいのではという話があるが、どこかでやらねばならない。JRと仙台市交通局で何度も協議しているので、実現したい。

利府駅には6バース程度必要。復路に集中するバス台数に対応する。往路については若干の余裕があるのではないかと。必要なバス台数は、路線バス + 観光バスで400台程度。

バス経路図は動線図参照。利府駅からは国体と同様。乗り場は利府駅前中心で考えている。

できるだけ歩かないところ = 利府駅の前から載せて運びたい。そういった措置をとっても歩く人は出てくるだろう。

P & B Rのバスを遠回りさせてスタジアム南側ターミナルに入れる理由：

第一駐車場：左側をJR系、右側をP & B R系にする必要がある。エントランス南口にバスの入ることができる仮設の通路を設置する。ここからP & B Rを入れる。従って、神谷沢から来て入れるしかない。

一箇所に集中しないように、協議会の意見を聞きながら採り入れてきた。

自主警備の計画：

1 / 1 2 の読売新聞の記事の中で、住宅地の自主警備計画の内容を説明した、というのがあったが違う。基本的な警備計画を述べただけ。地元の方に最初に説明したい、と思う。

自主警備の基本方針：安全確保

自主警備の対象区域について

交通誘導（シャトルバスの運行ルート、歩行者対応、沿線対応）

スタジアム周辺の団地：菅谷台など周辺地域全体が対象になる

スタジアム関連地域：県民の森等、円形広場の脇の公園

主要ターミナル：シャトルバス発着場の拠点

P & B R 駐車場

公式練習場：県のサッカー場は候補地になっている JAWOC がやるので、県がどこまでできるかどうかわからない。協議中である。

市街地：仙台市中心部など

どういったことをやるのか

案内、救護、関係機関への通報など

雑踏事故防止のための誘導：交通規制について 一般車両の規制

フリーガン等の対策

自主警備の期間・対策：開催日の他、必要に応じて実施（前の晩や翌日など）

警備の方法：警備委員の固定配置（開催日）、前の晩や当日夜間は警備員の巡回（固定配置は避ける）

今後、新たな内容が出たら、こういう機会の説明したい。

あくまでも案なので、内容を見直しながら検討したい。最後までこれが生きるというわけではない。

協議会側の質問（平成13年12月31日付）を元に。

1．アクセス管理エリアとはどこか

スタジアムのフェンス以内をアクセス管理エリア（JAWOC 管理）

スタジアムの右側は入場ゲート（円形広場あたり、円形広場の一部）、北側は泉口、沢乙口（バス入口）付近が管理エリア。南西部の公園や入菅谷などはチケットの有無に関わらず立ち入ることができる。アクセス管理エリアの中は大会期間中は入れない。

2．略

3．秋季大会開会式の通行規制を行った。大成功だった。スタジアム南側道路、コスモからグランディ、石積トンネルから北部道路の北まで。混雑が少なかった。利府街道は交通量が3割減った。関係車両の輸送。交通事故が全くなかった。交通規制はどうか。そのように考えている。原則的には国体と同じように、3路線で通行禁止規制にしたい。利府駅前が乗降場になるので、一般車用は利府駅から北側への一方通行を考えている。アルゼンチンは利府駅経由で行う。規制時間については、15：30キックオフなので、12：30から、20：00までを予定している。3試合目は21：00まで。長い時間にはなるが、輸送が問題なければ規制を解除するかもしれない。試合中にも中抜きで解除したい。規制道路を通行するのに、宮城県で発行する通行証を貰うことになるが、協力をお願いしたい。

4．臨時休校について。宮城県教育委員会にお願いした。休校にしなさいとはできない。休校は学校長の判断である。各市町村の教育委員会に伝わっているはず。各教育委員会に検討してもらっている。高校の校長会も考えているようだ。コンフェデレーションカップでは新潟等で一部の高校で休校措置をとった。場合によっては午後の授業をうち切るとか、

そういう対応も考えられる。この先時間があるので、各学校に対応をお願いしたい。

5．野営場の設置。必要かどうか場所などを検討してきた。加瀬沼周辺とかも考えた。他の自治体がどういう対応するか考えた。現時点では、野営場を設置する4箇所、設置しない4箇所、検討中というのは2箇所（宮城も）。野営場を設置するのは夜8時がキックオフのところ。そういうところは設置しないといけないところが多い。野営場の設置は近隣の住民の安全を確保するために、場所を設ける、という考え方、ホスピタリティの発揮という意味合いがある。どちらに重きを置くか、ということを考える。県でも野営場を加瀬沼に設置したとするとそこまでどうやって運ぶか、おとなしく寝るだけかどうか、警備をつけないといけない、あるいは加瀬沼周辺の方々の安全に注意しないといけない、など議論してきた。これまでの大会で野営者はどこで野営するかというと、町中で野営するのが一般的だ。結論としては、改めて野営場は設置しないという方向で固まっている。住宅地域では、寝泊まりする場所ではないから移動しろ、と指導する。

6．クローズドサーキットについて。チケットを所持しない人への主催者の配慮。県としてはスタジアムから離れたのは、チケットを持っていない者を排除しようとするものである。逆に利府でやるとなると、チケットを持たない人の輸送、警備などの問題が生じるから、離れた。誘導については、仙台駅から行う。駅に設置するインフォメーションコーナーや大使館に情報を流す。仙台市体育館以外は、設置しない。やるなら大きなところ。

7．Sキューブについて。県ではやってはいけないと言える立場ではない。実際にやる場合は、利府の中央公園でやりたい、という話。経費や警備の問題がある。説明を貰った時点では具体的な計画は成熟したものではない。実際に野宿もさせたいという構想も持っていた。大きいイベントをやった場合に、利府中央公園に集中して混乱する可能性がある。具体的にもう少し練った段階で学生さんと話をしたい。

8．ダフ屋問題：厳格に取り締まりをする。宮城県の条例を改正するつもり。場所のみを取り締まっているので、場所を大幅に拡大する。ダフ屋行為しようとしたものも取り締まる。6ヶ月以下の懲役など、罰則強化する。改正作業中。2、3月の県議会で承認してもらおう。フリーガンはどうか。アルゼンチンのサポーターは悪質な者が多い。質も人数も違う。良い面もある。フリーガンとサポーターは全く違う。フリーガンには3種類ある。ひどいのはイギリスとかドイツのフリーガンで、彼らはサッカー観戦とは関係ない。2番目；アルコールや試合結果。3番目は一時的に騒ぎに加わる人たち。アルゼンチンはイングランドやドイツとは違う。2番目や3番目の人が多い。厳正に取り締まる。やり方としては軍でやるのではないので、手間も暇もかかるけど、外堀からかためたい。事前の段取りが大切。フリーガンが密集しそうなところで警戒する。こみいった複雑な警備をやりたい。第一義的には自主警備をやってもらってやる。出場国のアルゼンチンとスウェーデンの担当者に来てもらってやる。宮城県警も全員W杯を分担させることはできない。県警の半分をW杯でやる。警察庁に依頼して、応援をもらう。騒ぎが起きた場合どうするのか。小さな芽でつみ取りたい。事案が起きそうだな、というところに部隊を配置しておく。スタジアム内やスタジアム周辺に大量の部隊を配置する。一方、県警の都合ではあるが、留置場が満杯という事情もある。調整してなるべくたくさん入って貰う。大量検挙に対しても対応していきたい。なお、入管法を改正してフリーガンは帰ってもらう、という措置とする。

9．シャトルバス無料化はどうなったか。外国人から料金をとるのはどうかという指摘もあった。予算の絡む問題なので未だである。結論は先。重要な選択肢の一つであるというのも了解している。

#### 10．経済波及効果

資料によって説明。変動要因は多いので、不明なところが多い。直接的なものにはチケットの開催地住民枠があった。ボランティアにとってよかったというもの。長期的には宮城、利府のイメージアップなど、県民の誇りにつながるだろう。県としては利府のことをPR

していきたい。

11．勉強会開催については：勉強会などは一定の努力をしている。11月には宮城スタジアムイベントや今日のイベント、1校1国運動なども効果がある。勉強会的な場を設けていきたい。

12．推進委員会で作成したものは、プラザの前にある。その他、いろんなものを利府町に提供していきたい。

13．保険について：自治体が入っている保険は大会の開催にあたって、輸送警備などやイベントでの事故・事件のときに支払われる保険。フリーガンが暴れたときの損害は適用にならない。一般のサポーターが試合結果等に触発されての損害は、自治体側に責任が問われる場合は、適用になるだろう。W杯絡みの事象であること、自治体に責任が問われるものであること、によって、保険が支払われる。事象毎によって違う。フリーガン保険＝横浜スタジアム周辺の共済制度。そこで支払いきれないときに、保険でカバーするというもの。フリーガン保険に一般の人が個人で入れるものではない。

酒井：

意見交換は時間がないので、質問の回答は後日書面ということ。

花園：

国体のステッカーはうまくいったか。もっと早い段階で申込みをとって早く対処すればある。やるのであればきちんとやる。曖昧な警備では意味をなさない。学校の問題。言葉が通じないというのは恐怖だ。県でちゃんと方針を決めて欲しい。

大町：

フリーガンとサポーター。保険制度についてフリーガンについては考えられない。その保証はどのように考えればいいのか。

鈴木参事：民事は当事者間の問題であり、自治体は知らない。サポーター問題も自治体に責任がある場合などに限る。

青葉台：

何回か勉強会やったのだが、時間配分を考えて欲しい。細かい説明は書類を見ればわかるので、時間配分をお願いしたい。

今説明して貰ったのは、計画案として出ている。6月から本番。計画案がいつ確定するのか。住民にいつ伝わるのか。スケジュールを合わせて今後どう周知徹底するのか。我々行政区長をどうすればいいのか。聞いただけでは時間の無駄。JAWOCと宮城県の管理体制の整合性はあるのか。JAWOCはこの協議会に来たことはあるのか。一体としての意見を聞きたい。保険の問題。住民が困るのはフリーガンとか住宅を傷つけられるとかそういうことに関心がある。住民の立場になってものを考えたい

入菅谷：

野営場は設置しない。菅谷台や入菅谷にたむろする可能性があるのか。公園には街灯がつかない。つけてもらって、街路灯をつけて明るくしたい。

酒井：

宮城県側への要望：後ほど書面をお願いしたい。

今日発言できなかった人の質問意見については後日対策協議会から書面で問い合わせる。

以上